

歯学教育の改善・充実に関する これまでの取組



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

歯学教育の改善充実

- 「歯学教育の改善・充実にに関する調査研究協力者会議第1次報告」
(H21.1)
- 「第1次報告を踏まえたフォローアップ状況(まとめ)」(H23.5)
- 「第1次報告を踏まえた平成24年度フォローアップ調査まとめ」
(H24.12)
- 「歯学教育の質向上のための施策の方向性」(H24.12)
- 「歯学教育の改善・充実にに関する調査研究協力者会議【提言・要望】」
(H26.2)

※ 上記■報告等は、文部科学省HPに掲載しています。

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1324090.htm

歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議 第1次報告（H21.1）概要

改善方策

1. 歯科医師として必要な臨床能力の確保

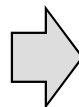
- 到達目標の設定や成績評価の実施が不十分
- 患者の協力困難、国家試験対策のため診療参加型臨床実習の時間数が減少



- 診療参加型臨床実習の単位数の明記、卒業時到達目標や必要臨床実習項目の明確化
- 臨床実習終了時の各大学でのOSCE(客観的臨床能力試験)の実施
- 学外機関を活用した臨床実習の促進

2. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施

- 各大学の教育の特色が希薄化
- 共用試験を境に座学と臨床実習が分離



- 各大学の体系的な教育課程の編成の徹底、成績評価・進級判定の厳格な実施
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの見直し
- 歯学教育の質を保證する第三者評価の導入

3. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保

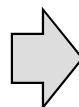
- 入試の選抜機能が低下する大学
- 歯科医師過剰が職業としての魅力低下に影響



- 入学者受入方針の明示、入試関連情報の公開
- 面接の充実、高校との連携等、学生の適性等を見極める各大学の入試の工夫
- 優れた入学者確保が困難な大学、国家試験合格率の低い大学等の入学定員見直し

4. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成

- 基礎と臨床が融合された研究等が必要
- 学部段階から研究マインドの育成が必要



- 学部教育の中で研究に携わる機会の拡充
- 歯学系大学院の目的や教育内容を、臨床歯科医、研究者の養成目的に応じて明確化
- 国際的に優れた若手研究者養成のため、大学の枠を超え連携した拠点形成

今後の検討

- この提言を踏まえた各大学の取組状況をフォローアップ
- 文部科学省は各大学の改善計画を把握し、必要な改善を推進
- 文部科学省・厚生労働省が連携し、卒前・卒後教育を一体的に捉えた検討

1. 診療参加型臨床実習の充実
2. 多様な歯科医療ニーズ等に対応した歯科医師養成
3. 教育活動等に関する情報の公表
4. 歯学教育認証評価の導入
5. 平成26年度以降のフォローアップ調査の実施
6. 歯学部入学定員

1. 診療参加型臨床実習の充実

- 歯科医師として必要な臨床能力の確実な修得のため、引き続き、診療参加型臨床実習の充実に向けた取組をお願いします。

- 充実にあたっては、
 - 「診療参加型臨床実習コア・カリキュラム事例集(案)」
「診療参加型臨床実習・臨床研修連携手帳(案)」
(H24.3文部科学省先導的の大学改革推進委託事業
「医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究歯学チーム」取りまとめ)
 - 「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
第1次報告を踏まえた平成24年度フォローアップ調査まとめ」
(H24.12フォローアップ小委員会)
を踏まえた取組を推奨します。

※ 上記■報告等は、文部科学省HPに掲載しています。

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1324090.htm

2. 多様な歯科医療ニーズ等に対応した歯科医師養成

- 歯学教育に対する社会のご理解・信頼の確保、及び歯科医師の活躍の場の拡大を図っていくためには、社会の変革の推進役となる歯学部づくりが必要です。
- そのため、各歯学部におかれては、それぞれの強みや特色を活かしながら、多様な歯科医療ニーズ(※)に対応した歯科医師の養成や、地域又は世界規模の課題解決に向けて、引き続き積極的な取組をお願いします。

(※ 多様な歯科医療ニーズ)

在宅歯科医療、地域包括ケアの構築、口腔がん、スポーツ歯科、
歯科法医学、健康長寿社会の実現、革新的な歯科医療機器の
開発・普及等

3. 教育活動等に関する情報の公表

- 各歯学部における教育活動等の情報(※)は、受験生や在学生にとっても有用な情報となることから、各歯学部は、大学ホームページに掲載するなどの方法により広く公表するとともに、社会的評価を踏まえた適切な対応に取り組むようお願いいたします。

(※教育活動等の情報)

入学者選抜区分ごとの授業料・入学料・留年率・国試合格率、診療参加型臨床実習の実際、学習成果、教育の内部質保証など

4. 歯学教育認証評価の導入

- 日本の歯学教育の更なる質の向上を図るとともに、日本の歯学教育が国際標準を超えていることを証明するためには、分野別歯学教育認証評価を導入し、世界を先導することが必要と考えます。
- 現在、文部科学省の補助金事業として平成24年度から「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」(東京医科歯科大学、新潟大学、九州歯科大学、東京歯科大学、大阪歯科大学)が実施されていますが、本会議としては本事業に期待するとともに可能な協力を行っていきます。
- 各歯学部においても、歯学教育認証評価の導入及び本事業へのご理解・ご協力をお願いします。

5. 平成26年度以降のフォローアップ調査の実施

- 「歯学教育の改善・充実にに関する調査研究協力者会議第1次報告」を踏まえたフォローアップ調査については、「平成26年度以降のフォローアップ調査の方向性」のとおり取りまとめましたので、ご理解・ご協力をお願いします。

6. 歯学部入学定員

- 入学定員充足率の極端な超過校と低下校があること等は、歯学教育の質の低下につながる恐れがあるため、入学者選抜にあたっては、歯科医師抑制に関する閣議決定(S61.7、H10.5)を踏まえ、入学定員(募集人員)内での受入れの遵守について徹底を図るとともに、入学定員未充足の歯学部については、適正な入学定員の設定や入学者選抜の改善等、優れた入学者の確保に取り組むようお願いいたします。

平成26年度以降のフォローアップ調査の方向性①

平成26年2月24日 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
(※下線部分は、平成24年度調査からの変更点)

1. 調査の目的

- ① 第1次報告の提言に対する取組状況のフォローアップ
- ② 上記①を踏まえた課題の指摘と改善の促進
- ③ 各歯学部**の強みや特色を活かした優れた取組や成果(社会ニーズへの対応等)の把握**
- ④ 上記③の積極的な発信による、歯学教育に対する社会のご理解・信頼の確保、歯科医師の活躍の場の拡大に向けたPR

2. 調査の実施サイクル

- 2年ごとを目安に実施

3. 調査対象大学

- 平成26年度は、全歯学部を対象
(※平成24年度は、平成22年度調査で改善を指摘された歯学部が対象)

4. 調査項目(例)

- ① 入学状況(充足率、競争倍率)、国家試験合格率
- ② 診療参加型臨床実習の実施状況(実習期間、学生1人あたり自験症例数等)
- ③ 第1次報告の4提言に関する近年の改善実績等の概要(アウトプット、アウトカムを重視)
- ④ 各歯学部**の強みや特色を活かした優れた取組や成果の概要(社会ニーズへの対応等)**

平成26年度以降のフォローアップ調査の方向性②

平成26年2月24日 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
(※下線部分は、平成24年度調査からの変更点)

5. 調査方法

- 書面調査、ヒアリング、実地調査
- ヒアリング・実地調査の対象には、優れた取組を行っている歯学部に対する先進事例の調査を含む

6. 負担軽減のための措置（例）

- 調査票の簡略化（項目の大括り化、文字数・頁数の制限、既存資料の活用等）
- ゆとりある調査期間の設定
- ヒアリング、実地調査対象大学の精選

7. 今後の検討課題

- 調査対象大学にとってのメリットの整理（社会へのPR等）
- 調査結果のより効果的な公表方法
- 調査方法等は、社会情勢等に応じて必要な見直しを実施

診療参加型臨床実習の充実

■平成23年度 文部科学省先導的大学改革推進委託事業
医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究歯学チームにおいて、

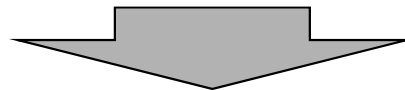
①診療参加型臨床実習コア・カリキュラム事例集（案）

- ※ 診療参加型臨床実習、見学、介助、自験などの用語を定義
- ※ 専門領域ごとに診療参加型臨床実習の方略と評価を具体的に明示

②診療参加型臨床実習・臨床研修連携手帳（案） （連携ログブック）

- ※ 臨床実習、臨床研修で経験した臨床症例を記録

を作成（H24.3）し、報告書を各大学へ送付済。

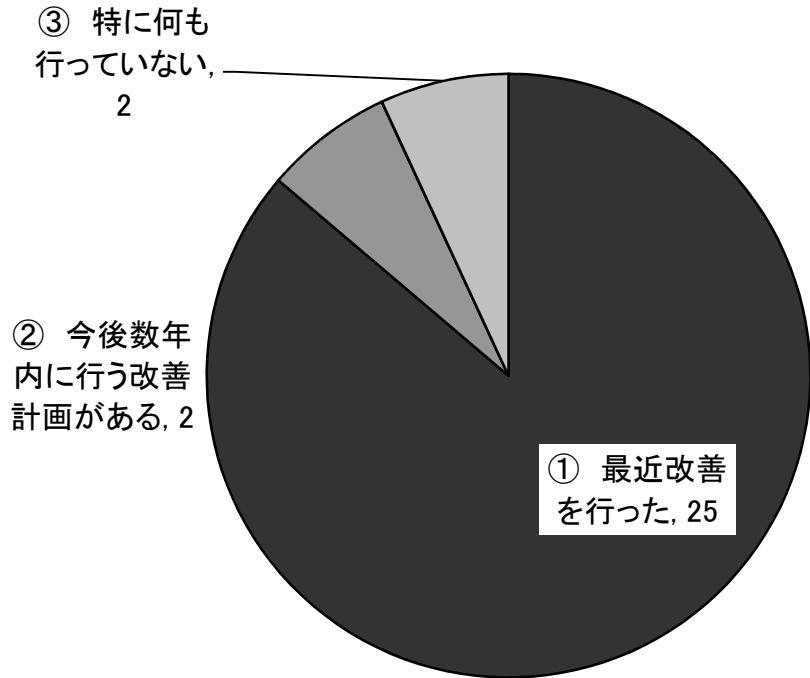


上記報告書等を参考に、
・各大学には、診療参加型臨床実習の充実への取組を期待

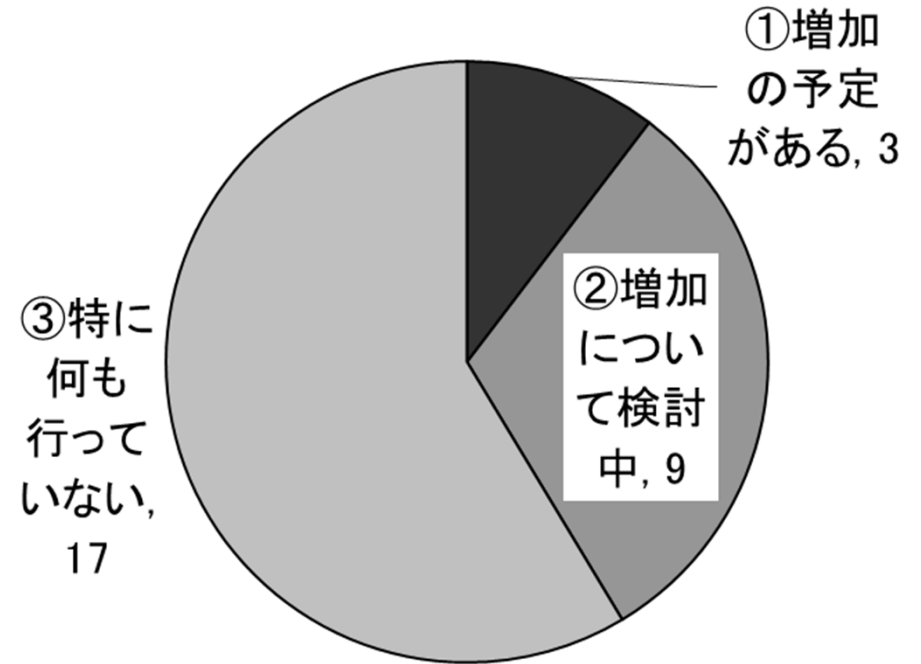
診療参加型臨床実習の充実の状況（歯学）①（H26医学・歯学教育指導者のためのワークショップより）

○ 診療参加型臨床実習の取組状況

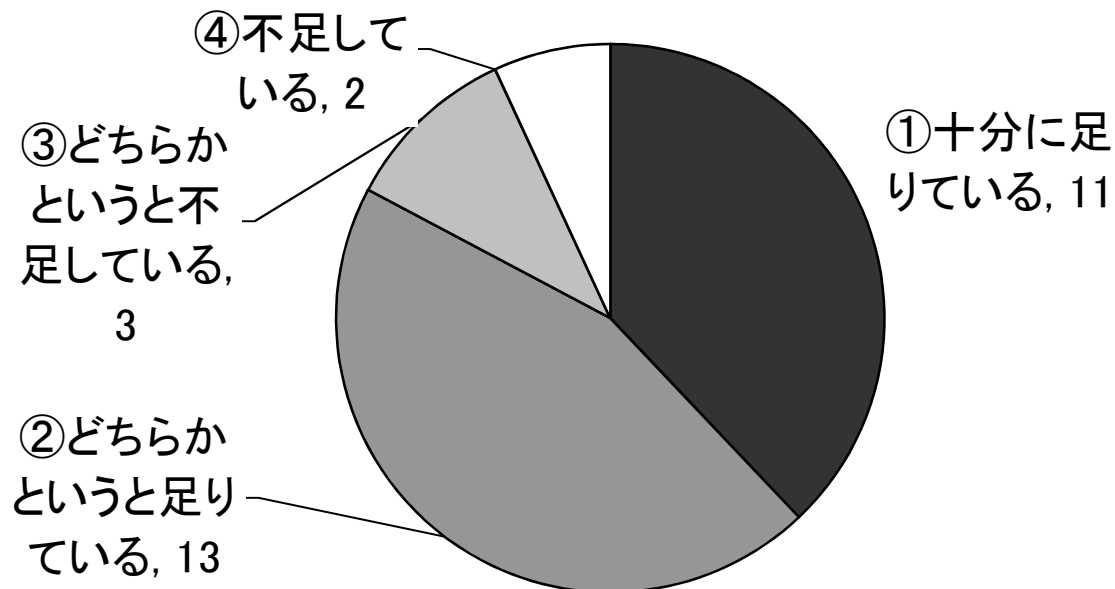
9割以上の大学が既に改善もしくは改善計画を予定している。



○ 臨床実習期間の今後の増加予定

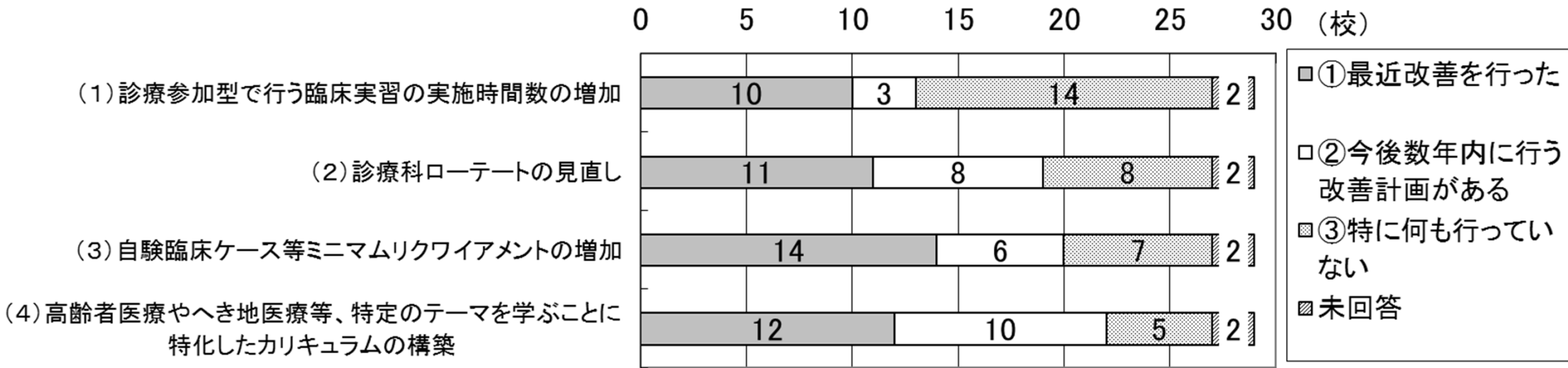


○ 臨床実習施設の確保

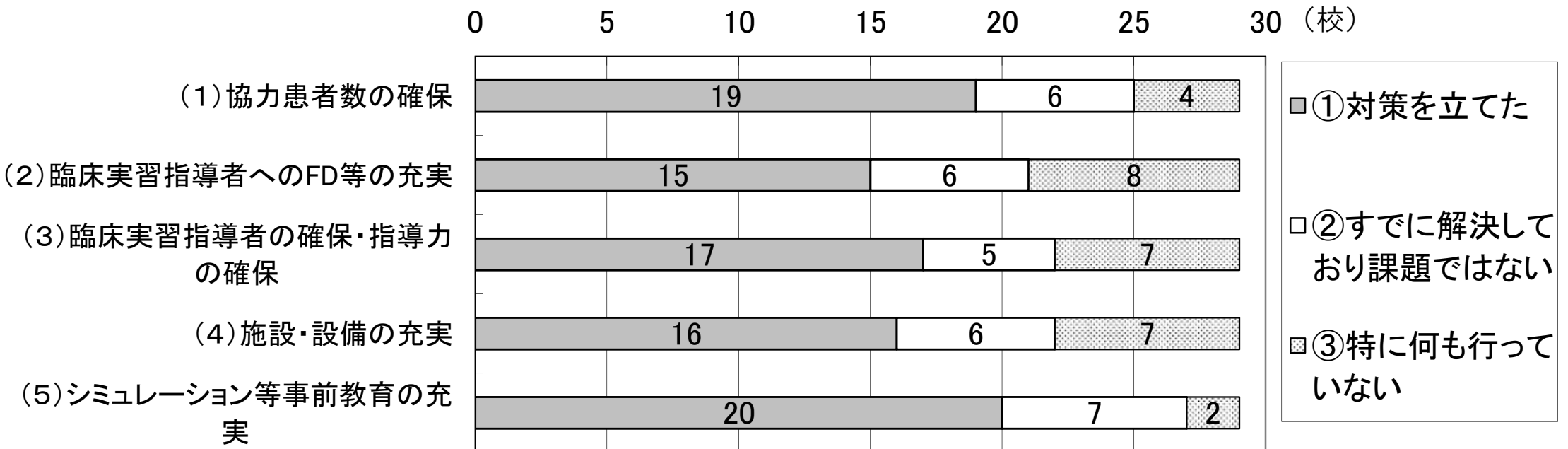


診療参加型臨床実習の充実の状況（歯学）②（H26医学・歯学教育指導者のためのワークショップより）

○ 診療参加型臨床実習の内容面について改善点



○ 診療参加型臨床実習の充実のために解決すべき課題について、対策を立てたかどうか



平成25年度 先導的¹大学改革推進委託事業

医療提供体制見直しに対応する医療系教育実施のための
マネジメントの在り方に関する調査研究（歯学チーム）

歯科医師の使命



医療人として超高齢社会における
歯科医療にどのようにかかわるか

【課題】

1. 診療参加型臨床実習の継続的な改善・充実が必要
2. 指導教員の確保と養成(量・質)
3. 臨床実習の場の確保
4. シミュレーション教材の活用
5. 臨床実習終了時の技能・態度の評価の改善
6. 効果的な多職種連携教育の必要性

【提言】 下記項目の包括的な取り組みが必要

- 確かな基本的臨床能力の習得
安全安心な診療の実践、患者さんへの周知
- 専任教員の配置、若手指導医養成のためのFD実施
臨床教授等の活用、教員評価の検討
- 学習段階に応じた臨床実習の実践
学年進行の螺旋型カリキュラムの実施、
学外施設の拡充、
- 医療安全等に関わる十分な準備教育の実践
侵襲度のある処置の十分な事前の準備教育の実践
- 臨床実習終了時OSCE等の技能・態度評価の実施
観察記録、ポートフォリオの活用
- チーム医療の実践と全身管理の習得
周術期管理センター、摂食リハビリテーション科

日本における評価制度

1. 学校教育法第109条等に基づく評価

(1) 自己点検・評価

- ・大学は、教育・研究、組織・運営、施設・設備の状況について、自ら点検・評価を行い、結果を公表する。

(2) 認証評価(機関別認証評価)

- ・大学は、教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに、認証評価機関による認証評価を受ける。

(3) 専門職大学院認証評価(専門分野別認証評価)

- ・専門職大学院の教育課程、教員組織その他の教育研究活動の状況について、5年以内ごとに、認証評価機関による認証評価を受ける。

2. 国立大学法人法第35条等に基づく国立大学法人評価

(1) 各年度終了時の評価

- ・各法人の中期計画の達成に向けた進捗状況の総合的な評価

(2) 中期目標期間の業務実績評価

- ・各法人の中期目標の達成状況の総合的な評価

3. その他の評価

(1) 技術者教育プログラムの認定(工学、理学、農学)

- ・(社)日本技術者教育認定機構(JABEE)が実施
- ・学界と産業界との連携により、統一的基準に基づいて、大学等が行う技術者を育成する専門教育プログラムの認定を行う。

(2) 薬学教育プログラムの評価

- ・一般社団法人薬学教育評価機構が実施
- ・薬学教育機関の教育の質を保証するために、6年制薬学教育プログラムの評価を行う(7年に1度)。
(23年度にトライアル評価実施、25年度から本評価開始)

| 評価制度 | 区分 | 認証評価機関名 |
|-----------|-------------------|---|
| 機関別認証評価 | 大学 | 公益財団法人大学基準協会 独立行政法人大学評価・学位授与機構 公益財団法人日本高等教育評価機構 |
| | 短期大学 | 一般財団法人短期大学基準協会 公益財団法人大学基準協会 公益財団法人日本高等教育評価機構 |
| | 高等専門学校 | 独立行政法人大学評価・学位授与機構 |
| 専門分野別認証評価 | 法科大学院 | 公益財団法人日弁連法務研究財団 独立行政法人大学評価・学位授与機構 公益財団法人大学基準協会 |
| | 経営 | 特定非営利活動法人ABEST21 公益財団法人大学基準協会 |
| | 会計 | 特定非営利活動法人国際会計教育協会 |
| | 助産 | 特定非営利活動法人日本助産評価機構 |
| | 臨床心理 | 財団法人日本臨床心理士資格認定協会 |
| | 公共政策 | 公益財団法人大学基準協会 |
| | ファッション・ビジネス | 公益財団法人日本高等教育評価機構 |
| | 教職大学院・学校教育 | 一般財団法人教員養成評価機構 |
| | 情報、創造技術、組込み技術、原子力 | 一般社団法人日本技術者教育認定機構 |
| | 公衆衛生 | 公益財団法人大学基準協会 |
| | 知的財産 | 特定非営利活動法人ABEST21 公益財団法人大学基準協会 |
| | ビューティビジネス | 一般社団法人ビューティビジネス評価機構 |
| | 環境・造園 | 公益社団法人日本造園学会 |

※申請のあった者について、文部科学大臣が認証基準(省令)に適合すると認める場合に、中央教育審議会に諮問したうえで認証。

分野別評価に関する提言等①

○「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」(H14. 8. 5中央教育審議会答申)

4 専門分野別第三者評価

- ・大学の専門性を様々な分野ごとに評価する、いわゆる専門分野別第三者評価についても、例えば日本技術者教育認定機構(JABEE)が行っているように、将来的には多用な分野で行われることが必要である。(中略)当面、第三者評価の導入に対する必要性が特に強い法科大学院等の専門職大学院から開始することとする。

○「学士課程教育の構築について」(H20. 12. 24中央教育審議会答申)

第4章 公的及び自主的な質保証の仕組みの強化

- ・第三者評価制度の見直しに当たっては、分野別の評価をどのように進めていくかが重要な課題となる。

○「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」(H24. 8. 28中央教育審議会答申)

- ・文部科学省等には、大学の主体的な取組を支える観点から、以下のような取組が求められる。

専門職業人養成のいくつかの分野において進められている分野別到達目標や分野別第三者評価の策定などの分野別質保証の取組を支援する。

○第2期教育振興基本計画(H25. 6閣議決定)

- ・高度専門人材の育成に向けて、大学及び高等専門学校における分野別質保証の構築・充実に向けた取組を促進する。

分野別評価に関する提言等②

○「今後の医学部入学定員の在り方等に関する検討会」論点整理(H23. 12)

- ・我が国においては、大学教育全般に係る認証評価制度はあるものの、医学教育に特化した評価制度はない。
- ・国際水準の教育を実施していることを証明するためにも、日本の医学部がWFME グローバルスタンダードに基づくプログラム評価を受ける場合の環境整備の促進や、国内において医学教育に特化した評価の実施を検討していくことも望まれる。

○「歯学教育の改善・充実にに関する調査研究協力者会議」第1次報告(H21. 1)

- ・知識、技能、態度ともに優れた歯科医師を養成する歯学教育の質を保証するための第三者評価の仕組みの導入について検討する。

大学改革推進等補助金「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業①

事業の目的

日本の医学部・歯学部が国際標準の教育を実施していることを証明するとともに、国際標準を超えるグローバルかつ優れた医師・歯科医師を養成するため、日本における国際標準の医学・歯学教育認証制度等の基盤を構築することを目的として実施（H24～28予定）。

選定大学

| 分野 | 大学名 | 連携大学 | プログラム名称 |
|----|--------------|---|--------------------------|
| 医学 | 東京医科 歯科大学 | 千葉大学 東京大学 新潟大学 東京慈恵会医科大学 東京女子医科大学 | 国際基準に対応した医学教育認証制度 の確立 |
| 歯学 | 東京医科 歯科大学 | 新潟大学 九州歯科大学 東京歯科大学 大阪歯科大学 | 歯学教育認証制度等の実施に関する 調査研究 |

24年度の主な取組状況

- 歯学教育認証評価検討WG、幹事会 開催
- 諸外国での認証基準と認証評価の調査
- 評価項目検討のためのWS開催(12月)
- 公開シンポジウムの開催(3月)

25年度の主な取組状況

- 諸外国での認証基準と認証評価の視察・調査
- 事業に関するホームページの開設
- 評価基準トライアル版(案)の作成(2月)
- 評価(トライアル)実施大学における自己点検評価の開始
(九州歯科大学、大阪歯科大学)
- 公開シンポジウムの開催(2月)
- 評価実施要綱(案)の検討

26年度の主な取組予定

- 事業評価WGを開催し、事業の中間評価を実施
- 評価実施組織会議の開催
- 評価実施者養成ワークショップの開催
- トライアル外部評価の実施
(大阪歯科大学、九州歯科大学)
- 諸外国での認証基準と認証評価の視察・調査
- 評価(トライアル)実施大学における自己点検評価の開始
(新潟大学、東京歯科大学)
- 公開シンポジウムの開催

歯学教育認証評価検討WG 幹事会メンバー

歯学教育認証評価検討WG メンバー

〈国立〉

| | |
|----------|-------|
| 東京医科歯科大学 | 荒木 孝二 |
| 新潟大学 | 前田 健康 |

〈公立〉

| | |
|--------|-------|
| 九州歯科大学 | 北村 知昭 |
|--------|-------|

〈私立〉

| | |
|--------|-------|
| 東京歯科大学 | 一戸 達也 |
| 大阪歯科大学 | 中嶋 正博 |

〈国立〉

| | |
|----------|-------|
| 東北大学 | 高橋 信博 |
| 東京医科歯科大学 | 俣木 志朗 |
| 東京医科歯科大学 | 森尾 郁子 |
| 大阪大学 | 村上 伸也 |
| 岡山大学 | 窪木 拓男 |
| 広島大学 | 高田 隆 |
| 九州大学 | 平田 雅人 |

〈私立〉

| | |
|---------|-------|
| 北海道医療大学 | 斎藤 隆史 |
| 日本大学 | 中島 一郎 |
| 日本歯科大学 | 沼部 幸博 |
| 愛知学院大学 | 荒木 章純 |

※五十音順、敬称略

分野別認証評価の確立に向けた取組

東京医科歯科大学を中心に千葉大学、東京大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学の6大学が連携して実施(H24～28年度予定)

これまでの主な取組状況

○H24.10.29～11.2

東京女子医科大学グローバルスタンダードによる国際外部評価

○H25.5.17

全国医学部長病院長会議で日本医学教育認証評価評議会(JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education)承認

○H25.7.30

世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダード準拠
医学教育分野別評価基準日本版【正式版】公表 (日本医学教育学会)

○H25.12～

連携校によるトライアル評価を実施(新潟大学、東京医科歯科大学)

今後の主な取組

○WFME等の基準に合致する国際的認証機関への対応

FAIMER(Foundation for Advancement of International Medical Education and Research)、
WFME(World Federation for Medical Education)等の海外関連団体との調整

○2023 (H35)年のECFMG新制度への対応

H26年度～ 2023年までを目標に評価を実施

薬学教育評価機構(第三者評価機関)の設立

平成16年2月

薬学教育については、薬学教育の関係者や職能団体、企業の関係者のみならず、薬学関係以外の者の参画も得つつ、早急に第三者評価を実施するための体制が整備される必要があり、・・・

(平成16年2月18日 中央教育審議会答申)



平成20年12月

一般社団法人薬学教育評価機構設立



平成23年度

トライアル評価 3校



平成25年度～

本評価開始

平成25年度は3校。平成26年度以降、73大学が7年に一度評価を受けられるよう、1年当たり10校程度ずつ実施。

歯学部における入学定員削減状況

○昭和61年7月 厚生省「将来の歯科医師需給に関する検討委員会」最終意見

・昭和70年(平成7年)を目途として歯科医師の新規参入を最小限**20%削減**すべき。

○平成10年5月 厚生省「歯科医師の需給に関する検討会」報告

・入学定員の削減と歯科医師国家試験の見直しを行うことにより、新規参入歯科医師を10%程度抑制するとともに、臨床研修の必修化及び高齢歯科医師の稼働停止を組み合わせることにより、将来の歯科医師数を適正化。

※上記2つを合わせて、ピーク時の昭和60年度の入学定員から**28%程度削減**する目標

| 区分 | 昭和60年度 入学定員 | 平成元年度 入学定員 | 平成10年度 入学定員 | 平成26年度 入学定員 |
|----------------------|----------------|---------------|----------------|----------------|
| 国立 | 860人 | 685人 | 680人 | 562人 |
| 公立 | 120人 | 95人 | 95人 | 95人 |
| 私立 | 2,400人 | 1,952人 | 1,939人 | 1,803人 |
| 計 | 3,380人 | 2,732人 | 2,714人 | 2,460人 |
| 昭和60年度 からの 削減率 | - | 19.2% | 19.7% | 27.2% |

参考① 国立大学のミッションの再定義

国立大学改革プラン（概要）

第3期中期目標期間（平成28年度～）には、各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へ

改革加速期間中の機能強化の視点

- ✓ 強み・特色の重点化
- ✓ グローバル化
- ✓ イノベーション創出
- ✓ 人材養成機能の強化



自主的・自律的な改善・発展を促す仕組みの構築

- 第3期における 国立大学法人運営費交付金や評価の在り方については、平成27年度までに検討し、抜本的に見直し
- 改革加速期間中（平成25～27年度）の取組の成果をもとに、
 - 各大学が強みや特色、社会経済の変化や学術研究の進展を踏まえて、教育研究組織や学内資源配分を恒常的に見直す環境を国立大学法人運営費交付金の配分方法等において生み出す
 - 新たな 改革の実現状況を、その取組に応じた方法で可視化・チェックし、その結果を予算配分に反映させるP D C Aサイクルを確立する

学長のリーダーシップにより強み・特色を盛り込んだ中期目標・中期計画に基づき、組織再編、資源配分を最適化

各大学の機能強化の方向性

世界最高の教育研究の展開拠点

- 優秀な教員が競い合い人材育成を行う世界トップレベルの教育研究拠点
- 大学を拠点とした最先端の研究成果の実用化によるイノベーションの創出

全国的な教育研究拠点

- 大学や学部の枠を越えた連携による日本トップの研究拠点
- 世界に開かれた教育拠点
- アジアをリードする技術者、経営者養成

地域活性化の中核的拠点

- 地域のニーズに応じた人材育成拠点
- 地域社会のシンクタンクとして様々な課題を解決する「地域活性化機関」

当面の目標

- ◆ 第3期には、教育研究組織や学内資源配分について恒常的に見直しを行う環境を生み出す
- ◆ 第3期には、国内外の優秀な人材の活用により教育研究の活性化につながる人事・給与システムに
- ◆ 学長がリーダーシップを発揮し、各大学の特色を一層伸長するガバナンスを構築
- ◆ 2020年までに、日本人海外留学者数、外国人留学生の受入数を倍増
- ◆ 今後10年間で世界大学ランキングトップ100に我が国の大学10校以上を目指す
- ◆ 今後10年で20以上の大学発新産業を創出

改革加速期間中（平成25～27年度）の国立大学の機能強化の取組

ミッションの再定義

各大学と文部科学省が意見交換を行い、研究水準、教育成果、産学連携等の客観的データに基づき、各大学の強み・特色・社会的役割を平成25年中に整理・公表

社会の変化に対応できる教育研究組織づくり

- 機能強化のための改革の取組（組織再編、予算、人材や施設・スペース等の資源再配分）を国立大学法人運営費交付金等により重点支援
 - 各大学の改革の取組を第2期中期計画に反映
- 各大学の取組への配分及び影響額を3～4割に

グローバル化

国際水準の教育研究の展開 積極的な留学生支援

- 海外大学のユニット招致、国際共同大学院の創設、外国人教員の積極採用、英語による授業拡大等の国際化を断行する大学を重点支援
- 日本人学生等の海外留学を支援する官民が協力した新たな制度の創設
- 重点地域等を設定し、外国人留学生を戦略的に受入れ
- 海外拠点を活用した現地選抜、渡日前入学許可を促進する仕組みの構築

イノベーション創出

大学発ベンチャー支援 理工系人材の戦略的育成

- 国立大学から大学発ベンチャー支援会社等への出資を可能とする仕組みの創設
- 臨時国会に産業競争力強化法案を提出
- 理工系人材育成戦略の策定
- 平成25年度中に策定

人事・給与システムの弾力化

- 国立大学法人運営費交付金の必要額を確保した上で退職手当にかかる配分方法を早期に見直し、競争的資金における間接経費の確保
- 改革の取組への重点支援に際して、年俸制等の導入を条件化、適切な業績評価体制の確立
- シニア教員から若手・外国人へのポスト振り替えを積極支援
- 1万人規模で年俸制・混合給与を導入
- 若手・外国人に対し、1,500人の常勤教員のポストを政策的に確保することを目指す

ガバナンス機能強化

中央教育審議会にて年内を目途に審議を取りまとめ、所要の制度改正や支援

評価の体制強化

国立大学法人評価委員会の評価体制の強化（産業界等大学関係者以外からの委員増等）、先進的取組の積極的発信 等

国立大学のミッションの再定義

国立大学についてはミッションの再定義を実施。今回のミッションの再定義を踏まえ、各大学において、附属病院を軸とした地域の医療機関等とのネットワークを最大限活用しつつ、特色ある取組を推進していくことを期待。公私立大学におかれてもこうした取組を参考としていただきたい。

分野ごとの振興の観点(平成26年3月31日 文部科学省高等教育局・研究振興局)(抜粋)

医療・保健分野(医学、歯学、薬学、看護・医療技術分野)については、今後の超高齢社会における医療人としての使命感・倫理観、専門的な能力や研究マインド・課題発見解決能力等の必要な資質を備えた人材の育成はもとより、それぞれの大学が持つ知的資源やネットワークを活用し、教育、研究、診療・実践、地域貢献・国際化といった方向について、特色ある取組を推進する観点から機能強化を図る。特に、高度な医療機能を持つ附属病院と、それを軸とした地域の医療機関とのネットワークを最大限活用して学部教育、大学院教育、現職者の生涯にわたる研修を通じた人材育成を強化する。その際、特に大学院で養成する人材のイメージをより明確化する。加えて、学内の理工系や人社系の学部・研究科、研究所等のもとより、他の大学、研究機関、医療機関、地方公共団体、企業等とのネットワークを強化し、学際的・実践的な研究、チーム医療を担うために必要となる高いレベルでの多職種連携教育等において特色ある取組を推進する。

医学・歯学系分野については、超高齢化やグローバル化に対応した医療人の育成や医療イノベーションの創出により、健康長寿社会の実現に寄与する観点から機能強化を図る。具体的には、診療参加型臨床実習の充実等国際標準を上回る医学・歯学教育の構築、総合的な診療能力の育成、卒前・卒後を通じた研究医育成を推進する。また、独創的かつ多様な基礎研究を推進するとともに、分野横断・産学連携を進め、治験・臨床研究推進の中核となり、基礎研究の成果を元に我が国発の新治療法や革新的医薬品・医療機器等を創出する。地方公共団体と連携し、キャリア形成支援等を通じた地域医療人材の養成・確保、高度・先進医療や社会的要請の高い医療を推進する。

薬学分野については、基礎から臨床までを通じた世界水準の創薬研究の推進と、薬学教育6年制化の目的である医療人としての使命感・倫理観と研究マインド・課題発見解決能力を備えた、薬学教育研究を担う人材や医療の現場で先導的役割を果たす薬剤師の育成を進める観点から機能強化を図る。

看護学・医療技術学分野については、医療・保健系大学の設置が進展する中、地域社会の課題解決に貢献する実践力の高い地域のリーダー養成はもとより、看護学及び医療技術学の学術的追求を通じ次世代のリーダーとなる教育者・研究者養成を推進するとともに、大学病院をはじめとした知的資源を活用した学際性・国際性を重視した研究を推進する。

ミッションの再定義(医学)

振興の観点

医療人として必要な資質を備えた人材の育成に加え、国立大学の医学分野においては、**超高齢化やグローバル化に対応した人材の育成や、医療イノベーションの創出**により、**健康長寿社会の実現に寄与する観点から機能強化を図る。**

各大学の特色・強みを活かした機能強化の例

光導的な人材育成機能の強化

超高齢化に対応した総合的な診療能力を持つ医師の育成や、地域の課題に対応した機能を強化

- (例)
- 旭川医大 定員の約半数を「地域枠」とし広大な北海道の地域医療人材を育成
 - 弘前大学 生活習慣病等の教育・研究、被ばく医療の人材養成の強化
 - 千葉大学 医業看護学部の多職種連携教育によりチーム医療を実践する医師養成
 - 信州大学 全人的医学教育(臨床実習充実、研究者規範教育等)
 - 金沢大学 北陸各大学と連携し、研究力を備えたがん治療等の先進医療の人材育成
 - 福井大学 救急に強い総合医、緊急被ばく医療人材等の育成
 - 岐阜大学 医学教育共同利用拠点として次世代型の医学教育開発を貢献
 - 滋賀医科大学 住民参加による地域基盤型教育により全人的医療人を育成
 - 鳥取大学 人間性涵養教育、生命科学研究者等の養成(国立大最初の生命科学科)
 - 山口大学 基礎医学研究者、橋渡し研究人材等社会ニーズの高い人材の育成
 - 徳島大学 全国唯一の医療系栄養学を含めた多職種連携教育や分野横断研究による医療人の育成
 - 愛媛大学 基礎研究や地域医療など学生の多様な志向性を重視した教育
 - 佐賀大学 コミュニケーション力や臨床技能、高齢者や障害者の生活支援を重視した教育
 - 鹿児島大学 離島をフィールドとした教育・研究の推進

社会の課題解決や産学官・大学間連携

地域の行政、企業、教育・医療機関等との連携による地域・社会の課題解決のための研究や人材育成を強化

- (例)
- 山形大学 病院ネットワークを活かしたがん医療人材養成、医師確保推進
 - 秋田大学 総合的な診療能力育成やICT活用による高齢社会のモデル構築
 - 新潟大学 過疎地域の病院再編支援と医療人養成を合わせた拠点形成
 - 山梨大学 医工連携による研究、県と連携した地域医療教育
 - 富山大学 和漢医薬学研究、地元企業と連携した創薬・医療機器開発
 - 浜松医科大学 光技術等、産学官連携・ものづくりを活かした研究開発
 - 鳥根大学 過疎や高齢化等の地域課題解決に資する研究、高大連携から生涯教育までを通じた地域医療人養成
 - 香川大学 離島等の遠隔医療の推進、地域特有疾患(糖尿病)研究
 - 高知大学 県と連携した医師偏在対策モデル構築、家庭医養成
 - 大分大学 東九州庁「加バレー」の産学官連携による医療機器開発の強化
 - 宮崎大学 医学獣医学横断的教育研究や地域特有の感染症(ATL)研究
 - 琉球大学 島しょ循環型の医師派遣、沖縄の地域特性を活かした健康長寿研究

「地域枠」の設定
国立37大学879人(H25)

地域医療復興

高齢者人口(75歳以上)の急増
2005年→2025年で約2倍へ

高齢化による
医療ニーズの急増

医療・介護分野の就業者数は
2009→2020で約240万人増
見込み

医療技術の高度化

国立大学附属病院が62%を占める

基礎医学専攻大学院における医
学部出身者比率の減少
H5 59.2%→H22 36.7%

研究開発の
国際競争の激化

論文発表論文数の伸び率
(H15→H22)

日本 ▲34.5%
韓国 143.2%
中国 172.5%

新薬創出数は世界3位だが
部品の輸入超過が拡大中
(2012年1兆6,203億円の赤字)

臨床研究中核病院の指定(厚生労働省)
10機関中8機関が国立大学附属病院

グローバル化の推進、国際貢献

国際的に活躍できる医療人・研究人材養成の強化、世界的課題に関する研究や医療支援を通じて国際社会へ貢献

- (例)
- 東京医科歯科大学 海外トップクラスの医学部との交流を活かし国際水準を超える医学教育システムの構築を先導
 - 三重大学 多くの学生に海外での臨床実習を経験させ国際的な視点で地域医療を担う人材を育成
 - 神戸大学 インドネシアを始めASEAN諸国等と連携した研究や課題解決に貢献
 - 長崎大学 放射線医療科学・熱帯医学に関する国内外の拠点を活かしたグローバルな研究・教育の推進

最先端の研究・開発機能の強化

基礎研究・臨床研究を進め、革新的な医薬品・医療機器開発等による我が国発のイノベーション創出を強化

- (例)
- 北海道大学 分子追跡放射線治療等のがん治療法や人獣共通感染症に関する研究や基礎研究成果の臨床への橋渡しを推進
 - 東北大学 医工連携や加齢医学等の融合研究、大規模コホート研究による新たな医療創出と地域医療の復興への貢献
 - 筑波大学 陽子線治療、睡眠医学、生活支援ロボット技術等の学際融合研究、地域医療の再生支援と総合的な診療能力を有する医師養成
 - 群馬大学 重粒子線治療を始めとする先進医療・がん治療技術の研究開発
 - 東京大学 高度な独創的研究能力を持つ研究医の育成、難病疾患の病因解明等の最先端研究の展開、高度先進医療や移植医療の推進
 - 名古屋大学 神経疾患と腫瘍の融合研究など超高齢社会を見据えた最先端研究の推進、アジアを始め各国の保健医療リーダー養成
 - 京都大学 iPS細胞等による再生医療、がんなどの難病の克服に向けた最先端研究
 - 大阪大学 免疫学研究、再生医療の実用化、創薬研究、移植医療等の高度先進医療
 - 岡山大学 中四国の病院ネットワークを活かした臨床研究や移植医療の推進
 - 広島大学 放射線災害医療に関する国際拠点を形成し、放射線障害の克服に向けた先進医療研究と人材育成を推進
 - 九州大学 大規模コホートやビッグデータを活かした研究、アジアを中心とした世界各拠点の病院との遠隔医療ネットワーク構築
 - 熊本大学 発生医学やエイズ学の拠点機能を活かした教育研究推進

上記の4つの柱は相互に密接に関連するため、各大学をいずれかにカテゴライズするものではなく、強みを活かした機能強化の方向性の一部を紹介したものである。

ミッションの再定義(保健系〔歯学〕)

振興の観点

医療人として必要な資質を備えた人材の育成に加え、国立大学の歯学分野においては、超高齢化やグローバル化に対応した人材の育成や、医療イノベーションの創出により、健康長寿社会の実現に寄与する観点から機能強化を図る。

歯学を取り巻く現状と社会的要請

健康長寿社会実現への貢献

- 平均寿命と健康寿命の差
(男性9.1年、女性12.7年)
- 口の健康が全身の健康に深く関係
- 超高齢化に伴う歯科医療ニーズ の変化

医療イノベーションの創出

- 歯学の研究水準は高いが技術開発水準、産業技術力強化は課題
- 歯科医療機器は輸入超過状態
(H21年は167億円の赤字)

国際的な医療課題の解決

- グローバルリーダーの養成
- 発展途上国の歯科医療支援
- 世界的な高齢化への対応
- 大規模災害等への対応

各大学の特色・強みを活かした機能強化の例

「歯学を取り巻く現状と社会的要請」の3つの柱の色と「機能強化の例」の各文章の色が対応している。

岡山大学

国際社会や超高齢社会で活躍する研究マインドを持つ人材養成、**医用材料開発**や分子イメージング等の教育研究拠点、医科歯科連携診療

広島大学

アジアに根ざした**グローバル歯科医療人材・研究者育成の推進**、医歯工連携研究、放射線災害克服を含む再生医療、多職種連携バイオデンタル教育の確立と推進

九州大学

世界で活躍できる人材養成、口腔組織の再生・再建医療や口腔と全身の健康に関する研究、**アジア諸国への手術・遠隔医療支援**、発展途上国の人材育成への貢献

長崎大学

離島等の地域歯科医療を担う**歯科医師養成**、硬組織研究、歯周病研究、**歯科東洋医学研究**、**ケニアでの口腔健康調査をはじめとする国際貢献**

鹿児島大学

地域・へき地・高齢者歯科医療に貢献できる人材養成、先天性疾患に対応する**包括医療**、**アジア・アフリカの医療技術指導**

新潟大学

課題解決能力等を持った**歯科医師養成**と**国内外の人材養成モデルの構築**、口腔のQOL向上を目指した**基礎・臨床研究**、有病・高齢者への**対応や歯科再生医療の実践**

北海道大学

国際性・独創性を持った**研究者養成**、地域の産官学による**歯学研究拠点の形成**、有病者・障がい者に対する治療等、北海道における**高度歯科医療の中核的役割**

東北大学

世界をリードする**研究者養成**、**バイオマテリアル・歯学再生医療等の異分野融合研究**、**災害口腔科学**、**歯科法医学情報学**、**大規模災害対応及び創造的復興の先導的役割**

東京医科歯科大学

国際感覚に優れた歯科医師・歯科医療技術者・研究者養成、**歯学融合教育**や**世界的視野での歯学教育の標準化**、**医歯工連携による歯科材料開発**、**難治性歯科疾患やスポーツ歯科診療等の先端的歯科医療推進**

大阪大学

生命科学全般で活躍できる**研究者養成**、**先端的基礎研究の成果を再生歯科医療、内科的歯科医療・難治性歯科疾患等の開発・実用化へ発展**、**独立した附属歯科病院における難治性疾患にかかる先端的医療**

徳島大学

多職種協働(栄養・福祉を含む)を担う**人材・災害歯科医療人材養成**、**東南アジアでの人材育成支援**、**口腔免疫・生体材料・歯の再生等に関する研究**、**四国の高度歯科医療の中核的役割**

ミッションの再定義(保健系〔薬学〕)

振興の観点

国立大学の薬学分野においては、基礎から臨床までを通じた世界水準の創薬研究の推進と、医療人としての使命感・倫理観と研究マインド・課題発見解決能力を備えた、薬学教育研究を担う人材や医療の現場で先導的役割を果たす薬剤師の育成を進める観点から機能強化を図る。

各大学の特色・強みを活かした機能強化の例

北海道大学 核酸・抗体医薬研究、神経変性疾患や精神疾患研究、薬物送達研究などの**創薬・生命科学研究と人材育成**の推進
地域の中核的な医療施設で先導的立場で活躍する**薬剤師の養成**や、道内関係団体と連携した**道内薬剤師の再教育**

東北大学 分野横断型教育の推進による、独創的で国際的競争力を有する研究者・教員の養成
世界を牽引する**有機化学研究**の実績を活かし、創薬を指向した基礎研究を推進
研究力量を有し**薬物医療を通じて貢献する指導的薬剤師**の養成

千葉大学 チーム医療の中で職能を發揮し活躍できる、**高い研究マインド**を持つ**指導的薬剤師**の養成
医・薬・看護学部と附属病院が連携して行う**専門職連携教育（IPE）**の発展・普及
植物科学、薬物動態学、毒性学を基盤とした創薬研究

東京大学 広範な分野をリードする**優れた創薬科学研究者や基礎生命科学研究者**の養成
薬学のあらゆる分野における高い研究実績を活かした**世界トップを目指す最先端の研究**や、難治疾患・希少疾患の治療薬等**革新的医薬品の創出**

富山大学 和漢薬教育、アジア各国の大学との連携、**東西医薬学の融合**を通じた国際社会に貢献できる研究人材の育成
東西医療に精通し**地域の健康維持の核となる薬剤師**の育成
富山県の**創薬・医療機器産業との連携による革新的医薬品等の創出促進**

金沢大学 優れた研究能力を兼ね備え、北陸・中部地方で**主導的な役割を担う薬剤師**の養成
環境、毒性学分野を軸とした教育研究の強化を通じた研究人材の養成

岐阜大学 医学、工学、薬学など多くの学問領域を横断した**教育研究**
医療機器、医薬品に関する**レギュラトリーサイエンス**の教育研究・実践や、**社会人の受入れ**を通じた企業への支援

名古屋大学 理・工・農・医・薬学の**多分野融合薬学教育研究**を通じた**創薬基盤研究者**の養成
多分野にわたる**基盤研究力の融合**や学外との共同研究を通じた**創薬基盤研究**の推進

少子高齢化

高齢者人口（75歳以上）の急増
2005年→2025年で約2倍へ

薬剤師業務の高度化

病棟薬剤業務の推進
セルフメディケーション、在宅医療
への積極的な関与

再生医療や抗体医薬品などの
医療の進化に伴う薬の多様化

薬学教育の改善充実

医療人としての薬剤師養成に向けた
6年制薬学教育導入（H18～）とコア
カリキュラム改訂（H25.12）

私立大学が入学定員の9割以上を**薬剤師養成**の6年制課程とする中、**国立大学は研究・開発等多様な人材育成**のため約6割を4年制課程として設定

研究開発の国際競争の激化

臨床医学論文数の伸び率
(H15→H22)
日本 ▲34.5%
韓国 143.2%
中国 172.5%

新薬創出数は世界3位だが
医薬品の輸入超過が拡大中
(2012年1兆6,203億円の赤字)

京都大学 **創薬科学、医療薬学**の各領域にわたる独創的な研究や融合領域研究の推進、臨床から基礎研究への橋渡しとなる**リバース・トランスレーショナルリサーチの発展**
移植・再生医療やがん治療等先端医療を先導する環境を活かした教育の推進

大阪大学 「**創薬基盤技術力**」を持ち次世代の「**ものづくり（創薬）**」を担う**創薬基礎研究者**の育成
レギュラトリーサイエンス、トランスレーショナルリサーチに関する教育研究を通じた、「**創薬臨床力**」を持ち世界をリードする**先導的医療人**の育成

岡山大学 地域医療や病院業務等の「**実学**」を身につけた**薬剤師**の育成
地域の現職薬剤師の**高度化、救急薬学講座**の構築
基礎的な薬学から、**分子イメージング研究**や**難治性感染症**を標的とした研究まで広い領域における**研究開発**や**研究者養成**

広島大学 **医学、歯学との連携の伝統**を活かした研究の推進
自ら課題を発見し解決できる指導的薬剤師や薬学研究者の育成
患者志向で倫理観や使命感を育てる教育プログラムや**地域医療実習**、卒前・卒後を通じた**多職種連携等の取組**の推進

徳島大学 学部・大学院一体教育の推進による、**基礎薬学を基盤とする臨床薬学教育**と、**臨床知識に裏付けされた創薬・基礎薬学教育**の確立
四国地区の薬剤師の資質向上と大学連携の推進
有機化学分野を中心とした研究と**人材育成**

九州大学 **創薬・育薬**に関する研究単位を束ねた**分野横断型の教育研究体制**を活かした**創薬研究者**の養成
痛み研究、グリーンファルマ研究（環境調和型の育薬研究）など**独創的な研究**の推進

長崎大学 チーム医療で活躍でき**地域医療に貢献する薬剤師**の養成
他大学、自治体、職能団体等との連携による、**在宅医療と福祉に重点を置いた教育**の展開
感染症や放射線障害を中心とする**創薬研究**とそれを担う**人材**の育成

熊本大学 **研究マインド**を持ち**薬物治療の指導者**となる**薬剤師**の養成
地域製薬企業に対する研究開発支援や**地域薬剤師のスキルアップ**
希少疾患や慢性腎臓病等の**創薬的研究**と**人材育成**の推進

ミッションの再定義（保健系〔看護学・医療技術学、学際・特定〕）

振興の観点

医療系大学の設置が進展する中、国立大学においては、地域社会の課題解決に貢献する実践力の高い地域のリーダー養成はもとより、看護学及び医療技術学等の学術的追求を通じ次世代のリーダーとなる教育者・研究者養成を推進するとともに、附属病院をはじめとする国立大学の知的資源を活用した学際性・国際性を重視した研究を推進する。

各大学の特色・強みを活かした機能強化の例

研究・教育活動による地域社会の課題解決

- 三重大学** 環境看護学、減災のための予防活動等、人と社会を大切にする看護専門教育を実践
- 浜松医科大学** 製造業が盛んな地域特性を踏まえ、産業保健、産業看護の発展・向上に貢献
- 宮崎大学** 食と運動と健康を基軸とした教育・研究の推進により、個々の健康レベルに対応したケアを実践できる能力を備え、自ら自己研鑽を続ける能力を備えた人材を育成
- 信州大学** 広域県の各エリアにアンテナを有する分散型キャンパスを活かし、地域住民の能動的な保健行動を推進するための拠点を形成
- 北海道大学** 「食と健康」「環境と健康」に焦点をあてた研究を推進し、保健科学の発展と先進的地域保健体制の構築を通じ、地域社会へ貢献
- 秋田大学** 超高齢社会において、地域包括ケア及び介護予防に関する実践ができ、それぞれの専門分野でリーダー的に活躍できる人材の育成
- 岐阜大学** 「進める力」「伝える力」「考える力」を備えた国民が求める高度医療・地域医療に対応できる看護師の育成
- 香川大学** 離島や中山間地域の特性とニーズを踏まえ、高度実践家としての看護師等を養成

国際貢献を視野に入れた次世代グローバルリーダー養成

- 琉球大学** 医療専門職者の少ない開発途上国と共通課題をもつ島嶼地域における、多様な医療ニーズに対応する応用力と専門性を持った人材育成を通じ、国際保健に貢献
- 富山大学** 東西医学の融合を理念とした科学と人間性の調和を重視した教育により、伝統看護の再構築と研究を推進
- 神戸大学** 災害体験を活かした多職種連携、多機関連携により、世界的課題に対応する保健学のグローバルリーダーを養成
- 山口大学** 医学・工学・農学・理学の研究と保健学系分野との融合、他大学・企業との共同研究、海外プロジェクト等を積極的に推進
- 九州大学** アジアを中心に世界の保健学の発展に貢献することを目指し、実学に基づく「サイエンス」としての保健学教育により、質の高い研究者・教育者・研究マインドを持つ医療職者の養成

学際性を重視した教育・研究による次世代リーダー養成

- 大阪大学** 現場の実践向上に寄与する研究力を備えた人材、心身の健康増進を図るための学問的進歩を先導する国際性の高い医療人育成、「子どものこころと脳発達学」に係る高度教育研究
- 岡山大学** 医薬薬理工学農分野との連携を活かし、高度な専門知識と臨床スキルを身につけたリーダーとなる医療専門人の育成、並びに医療技術科学を確立できる人材を育成
- 金沢大学** 「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、専攻横断型の体制に加え、医学・薬学・理工学系と融合し、新しい保健学研究を積極的に推進
- 徳島大学** 医療系3学部5教育部を有する環境において、学部・研究分野の枠を超えた複合的視点を備えた医療人材を育成し、高度専門職医療人や研究者養成を推進

国際的に活躍し保健学の発展を牽引する研究者・教育者養成

- 東京医科歯科大学** 国際的視野を持つための教育を推進し、高度な実践能力を持ち、将来の我が国の保健系分野の教育研究の水準向上に寄与する研究者・教育者・指導者を養成
- 東京大学** 高い研究実績を活かし、世界を牽引する先端的で特色ある研究を推進するとともに、健康総合科学の広範な領域に係る知識・技術・研究の基礎力を有し、多様な課題を発見・解決できる健康と疾病、保健と医療を担う研究者を育成
- 京都大学** 世界トップレベルの先端医療技術の開発および臨床フィールドにおける実践の追求を通じて、世界レベルの研究を牽引する研究者を養成

教育方法の開発による地域のリーダー養成

- 旭川医科大学** 遠隔看護研究・能動的学修の推進等により、広大かつ厳しい気候条件の道北・道東地域の医療・福祉の向上に寄与する看護職を育成
- 山梨大学** 医学・工学等の他分野の知見を取り入れ能動型教育による看護技術の指導教育力、体験実習による災害時対応能力を備えた、実践力ある看護系人材を育成
- 高知大学** 全国有数の高齢化・過疎化先進県における健康予防・維持等に貢献する人材育成を客観的能力評価の導入により積極的に推進
- 大分大学** 超高齢社会における認知症ケアプログラムの開発を進展させ、看護師教育と保健師教育の共通基盤を統合した教育により、地域住民の健康生活を支援する看護組織のリーダーとして活躍できる専門職を養成
- 愛媛大学** 学生の潜在能力を引き出す教育の展開により、課題について主体的に取り組み問題解決ができ、地域包括医療・看護を担うことのできるリーダーや研究マインドを持って自己研鑽できる人材を育成

医療人材の確保

医療・介護分野の就業者数は
2009→2020で約240万人増見込み

高齢者人口（75歳以上）
2005年→2025年で約2倍
世界に類を見ない超高齢社会先進国へ

在宅ケアの質的量的整備

超高齢社会への対応

健康寿命増進のための
予防、リハビリテーションの推進

保健学教育の質的量的拡大

看護系大学の急増の影響

1992年 11校 ⇒ 2013年 210校
教員組織と実習環境の整備・拡充が課題

実践力の強化を目指した教育と
臨床の連携強化の必要性

保健学系学科を設置するすべての国立大学は医学科、附属病院も設置

医療技術の高度化と医療ニーズの複雑化・多様化

最先端の治療・診断技術開発等を支える検査技術、放射線科学の重要性

実践力・教育力・連携協働力の向上による地域のリーダー養成

- 弘前大学** 緊急被ばく対策や短命県克服のための予防活動開発等、地域における看護学・医療技術学の教育研究拠点を形成、学部から大学院まで一貫した多職種連携教育
- 山形大学** 学生の主体的学習の促進、在宅医療・看護に関する生涯教育の推進により、実践者・教育者・リーダーとなれる看護人材を育成
- 新潟大学** 他学部、附属病院、地域の企業、国内外の大学等との共同研究を推進し、臨床実践能力向上と教育指導者育成に貢献
- 福井大学** 災害看護研究、救急・災害に強い高度専門職業人の養成などを推進するとともに、高齢化に対応する多職種協働による地域医療の核となる看護人材を養成
- 滋賀医科大学** 地域連携の強みを活かした医療保健政策での支援を具体化し、看護臨床教育者や看護管理者育成を推進
- 鳥取大学** 地域の健康課題に対応した、高いコミュニケーション能力と臨床実践力を備えた全人的医療人である専門職業人の養成
- 島根大学** 超高齢化・広範な中山間地域等の特性を踏まえ、地域において継続的且つ包括的な保健医療福祉サービスを提供できる能力を有するリーダーを育成
- 長崎大学** 医学科や薬学部、県内3大学との合同教育等による在宅医療と福祉に重点化した教育の推進により、多職種協働に貢献できる人材養成を通じて医療職の地域偏在解消等に貢献
- 佐賀大学** 県内唯一の看護学高等教育機関として、高齢化、慢性疾患の増加等、地域特有の課題に対応できる、将来の教育者・指導者・研究者を地域に輩出
- 鹿児島大学** 離島・僻地医療、火山関連災害対策等、地域づくり関連の蓄積された理論的実践的知見を生かし、地域医療の発展に寄与できる人材、指導的立場で活躍できる高度専門職業人、教育者・研究者となり得る医療者を育成

実践科学の学術的 pursuit を通じた次世代指導者・教育者・研究者養成

- 千葉大学** 看護学の新たな領域の研究及び先進的教育プログラムの開発により、我が国の看護学の発展をグローバルに牽引する人材を育成
- 東北大学** リサーチマインドを備えた健康科学を牽引する高度専門職者、教育者、研究者を育成
- 筑波大学** 次代の看護学の創造や臨床検査学・医学の発展を担う人材を、共通教育プログラムに基づく先導的人材育成モデルによって育成
- 群馬大学** 保健学科と附属病院との連携による実践・教育・研究の統合により、社会の要請や地域住民のニーズに応えたチーム医療のリーダーとなれる高度専門職の育成
- 名古屋大学** 現代保健医療の問題解決に向けた研究開発マインドをもつ指導的医療人養成
- 広島大学** 平和を希求する精神に基づき、高度な看護・リハビリテーション実践の開発などの先進的な研究を推進し、地域社会・国際社会に貢献できる指導者、教育者、研究者を養成
- 熊本大学** 知識を実践に活かせる高い実践能力を備えた看護専門職業人や医療技術者の育成を通じ、精神科リエンチーム等新たな医療技術、看護ケアモデルを開発

上記の7つの柱は相互に密接に関連するため、各大学をいずれかにカテゴライズするものではなく、強みを活かした機能強化の方向性の一部を紹介したものである。

参考② 課題解決型高度医療人材養成プログラム

課題解決型高度医療人材養成プログラム

平成26年度予算額:10億円

概要

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する

背景 課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

医師・歯科医師

高度医療専門人材の不足

・病院基盤部門を担う医療安全・感染制御領域等の専門人材養成と体制充実

社会から求められる多様な医療ニーズの増加

・難治性疾患領域や高難度手術(移植医療等)領域等を担う専門人材養成

高齢化に伴う歯科医療ニーズの変化

・口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域を担う高度な歯科医師の養成

我が国が抱える
医療現場の諸課題

看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ

チーム医療の推進

・チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力の強化等

教育と臨床の連携強化

・学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、卒前・卒後の学生・医療人の教育指導体制の構築等

地域医療連携の推進

・地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

取組

【取組1】医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

14件×50,000千円

横断的な診療力とマネジメント力の
両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要と
される分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する
歯科医療人養成



【取組2】看護師・薬剤師を対象とした教育プログラム 12件×25,000千円

対象職種：看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士、歯科技工士



卒前・卒後の継続的な教育プログラム
開発と教育指導体制の構築

臨床での教育指導者養成と大学
教員・教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できるメディカル
スタッフの養成

成果

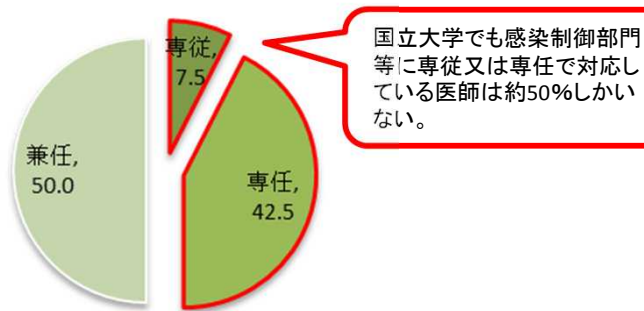
高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会の実現

取組(1) 医師・歯科医師を対象とした教育プログラム

背景

高度医療専門人材の不足

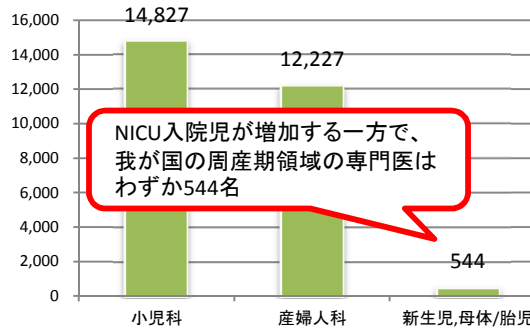
国立大学病院における感染制御部門等に所属する医師
(部長クラス)の専従・専任・兼任の状況(%)



出典:国立大学附属病院感染対策協議会(H24)

社会から求められる 多様な医療ニーズの増加

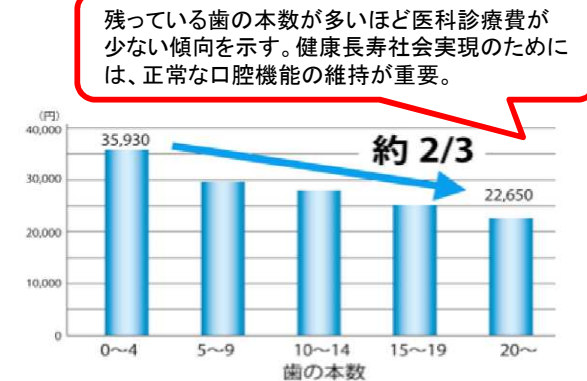
小児科等の専門医数(人)



出典:日本専門医制評価・認定機構(H24.8)

医科歯科連携による健康寿命の延伸

歯の本数と医科診療費の関連



出典:8020運動に基づく歯と全身の健康に関する実態調査2007
(北海道国民健康保険団体連合会)

課題

◇健康長寿社会を実現するための疾患克服が課題 ◇人口減少・少子化の進行

- ・病院基盤部門等を担う医療安全・感染制御領域の専門人材養成と体制充実
- ・災害医療対応能力の強化
- ・臨床研究推進のための「研究デザイン」教育や臨床医学教育を担う専門指導者等の養成

- ・難治性疾患領域(臨床病理診断も含む)の診断や治療を担う専門人材養成
- ・高難度手術(移植医療等)領域を担う専門人材養成
- ・小児周産期領域の集学的医療体制の更なる強化

- ・歯科疾患と全身疾患の関係に関する歯学教育の促進等

取組

横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成

特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成

健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成

成果

高度医療専門人材の輩出、我が国が抱える医療課題の解決、健康立国・健康長寿社会への実現

① 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成

課題

- ◇医療現場の諸課題に対して高度で専門的な知識を有した医師の養成が急務(病院運営の基盤となる領域の人材養成)
- ◇健康寿命の延伸、次世代の健康づくり、疾病予防等に資する臨床研究の推進

対応

- ◇横断的な診療力とリーダーシップが発揮できマネジメント力の両方を兼ね備えた医師の養成
- ◇治療方法の開発・実用化や診断法の性能、予防法の効果をデザインできる臨床研究人材の養成

各領域の課題

医療の質管理領域 (医療安全・感染制御)

- ・医療安全領域の専門人材養成
- ・安全に関する体系的教育整備
- ・感染制御領域の専門人材養成
- ・感染症の予防・拡大防止と感染症診療の充実

災害医療領域

- ・災害医療領域の専門人材養成
- ・災害サイクル(急性期～静穏期)に合わせた災害医療活動の提供
- ・刻々と変化する医療ニーズへの対応

臨床医学教育・研究領域

- ・臨床医学教育領域の専門人材養成
- ・教育効果を高めるための教育システムの構築
- ・臨床研究デザイン領域の専門人材養成
- ・「研究デザイン学」教育の構築

課題解決策

横断的な診療力とマネジメント力を有した高度専門医療人材の養成

成果

- ◇医療安全・感染制御領域等、病院運営の基盤領域を担う専門人材の養成及び増加

対応プログラム例

〇〇〇大学高度医療人材養成プログラム

取組①

横断的な診療力を身につける教育プログラム

- ◇専門医療人材の教育プログラム開発、キャリアパス構築
- ◇地域医療機関や施設等で携わる医療従事者等への研修会等の開催
- ◇臨床研究の実践的・体系的な教育システムの構築
- ◇臨床研究スキルアップセミナー等の開催
- ◇医療安全領域等への専任医師の配置

取組②

マネジメント力を身につける教育プログラム

- ◇病院マネジメント力(経営戦略,人材管理,制度政策,会計管理等)の習得
- ◇コミュニケーション力、対話力等の習得
- ◇チーム医療を推進するスキル学習
- ◇情報リテラシー、リスクコミュニケーション等の習得
- ◇他機関・行政・自治体等との連携や事業への参画
- ◇新たな組織横断チームの設置(例:災害対策マネジメントチーム等)



効果

- ◇医療の質の向上
- ◇臨床研究・実用化研究の推進
- ◇健康長寿社会の実現

② 特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成

課題

◇医療の進歩・発展により医師に求められる知識・技能の高度化、社会から求められる医療ニーズの多様化等により、高度な知識・技能を有した医師の養成が急務
 ◇「治す医療」に加えて、「支える医療」の視点も加わった健康寿命への延伸

対応

◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による幅広い知識・技術・症例を習得できる高度な医療人材の養成

各領域の課題

難治性疾患 診断・治療領域 [臨床病理を含む]

- ・難治性疾患を担う医師の養成
- ・難治性疾患を有する患者増加への対応
- ・最終診断確定を支援する臨床病理診断医の養成
- ・がん患者等の増加や医療の高度化に伴う臨床病理診断の増加への対応

高難度手術領域

- ・高難度手術・技術(移植医療等)を担う医師の養成
- ・臓器移植法の改正による脳死下移植手術増加への対応等

小児周産期領域

- ・生殖医療、ハイリスク分娩等を担う医師の養成
- ・新生児難治疾患や小児在宅医療等を担う医師等の養成、長期入院児対応、退院に繋がるシステム等の構築

課題解決策

大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による高度専門医療人材の養成

成果

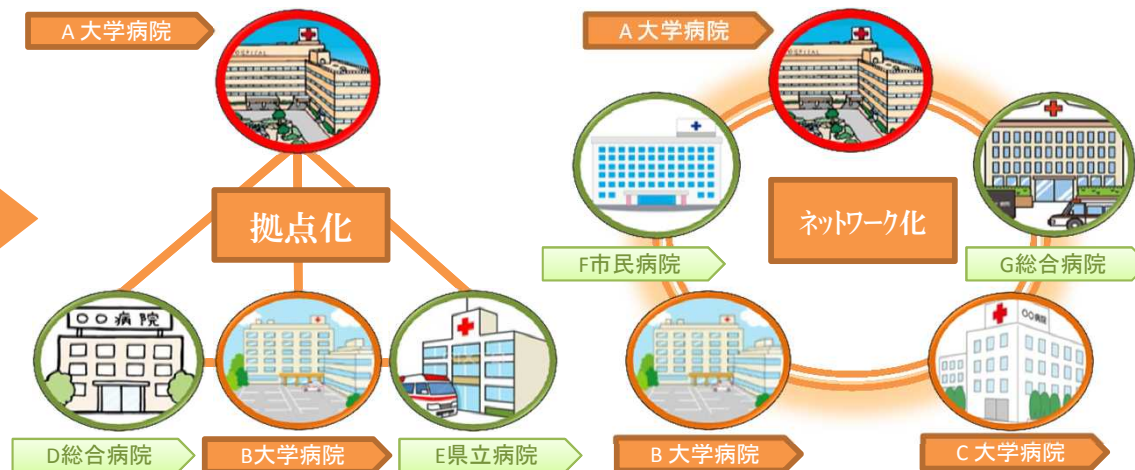
◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による専門人材の養成及び増加

対応プログラム例

〇〇〇大学高度医療人材養成プログラム

取組例①

取組例②



◇大学病院間等の拠点化・ネットワーク化による人材養成
 ◇高度医療人材養成プログラム開発と実践
 ◇教育指導者の養成

◇教育コーディネータの配置
 ◇多職種とも連携した人材養成
 ◇研究マインド向上のためのシステム確立

◇豊富な症例数の確保
 ◇症例データベースの構築
 ◇指導医・専門医等の資格取得支援

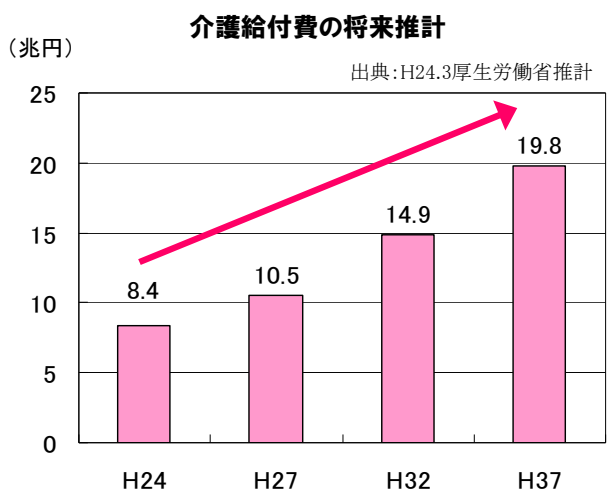
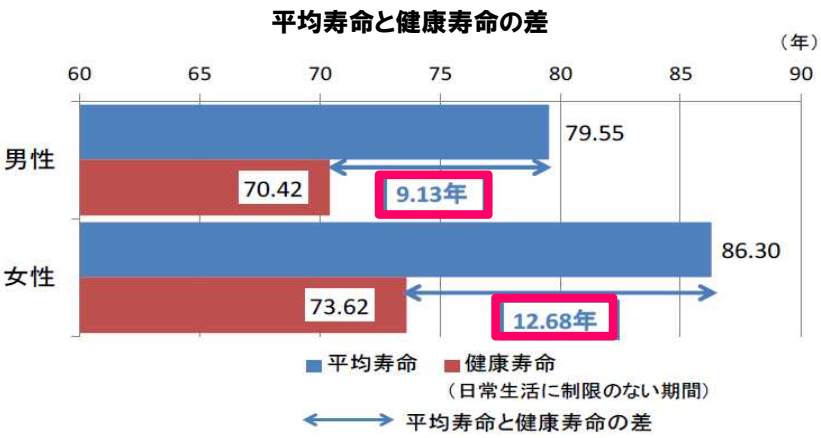
効果

◇医療の質の向上 ◇我が国の医療水準の向上
 ◇健康長寿社会の実現

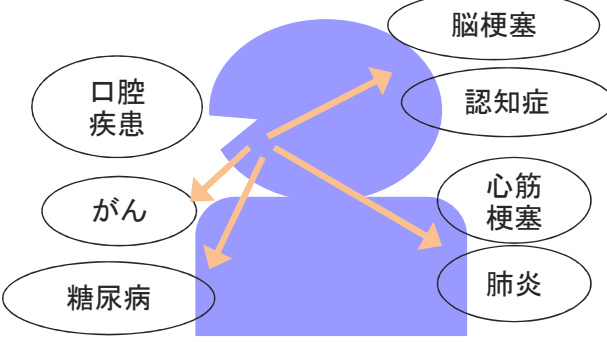
③健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成

背景

●急速な高齢化に対応するためには健康長寿社会の実現(健康寿命の延伸)が喫緊の課題



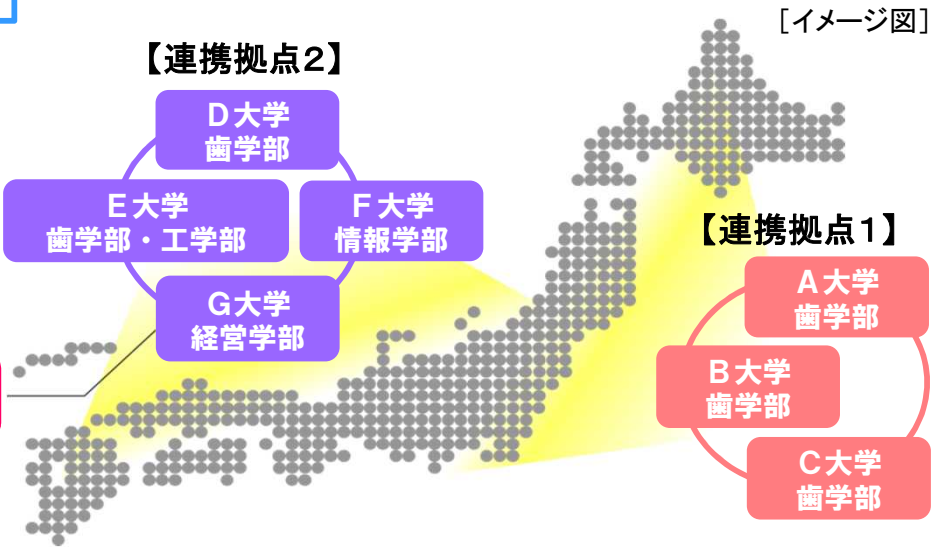
●健康長寿社会を実現するためには、
 ✓生涯を通して正常な口腔機能の維持
 ✓口腔疾患と全身疾患の関わりに関する領域の高度化
 ✓超高齢社会に対応した歯科医療等への対応が必要



対応 ●国公立大学を通じた歯学部間の連携により、健康長寿社会の実現に貢献する優れた歯科医療人養成モデルを構築し、全国に普及

※各連携拠点における取組の成果を全国へ普及

※各大学の自由な発想に基づき、課題解決に向けた事業計画を立案
 ※最も優れた事業計画を選定し支援



成果

- 大学における歯学教育改革の推進
- 国民の期待に応える優れた歯科医師等の養成

効果

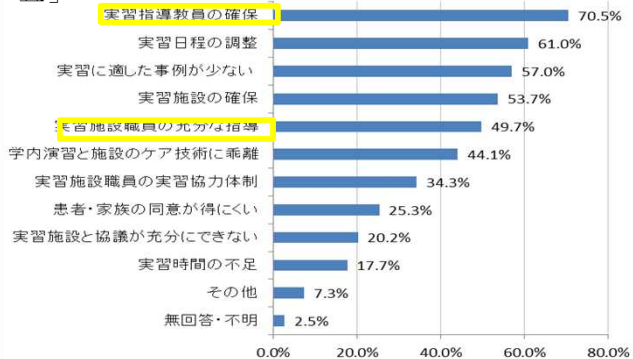
- 健康長寿社会の実現

取組(2) メディカルスタッフを対象とした教育プログラム

背景 (看護師を例に)

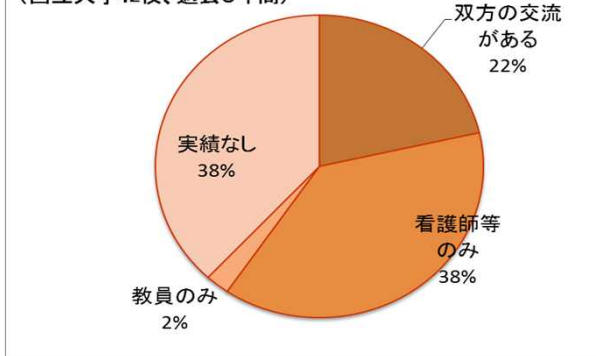
教員・教育指導者の不足

臨地実習の問題点 「2006年看護教育基礎調査」



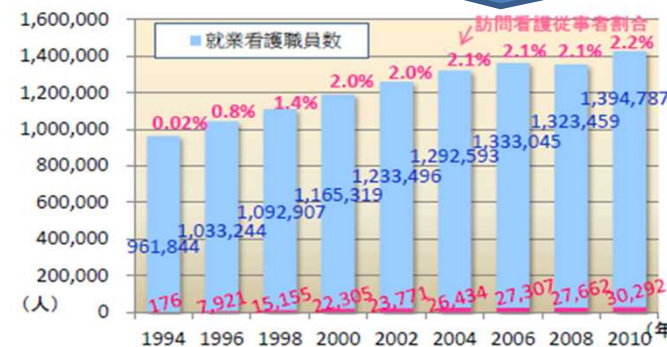
大学・臨床の連携の不足

人事交流の実績の有無 (国立大学42校、過去5年間)



地域で働く看護師の不足

訪問看護職員は全就業看護職員のわずか2%



卒業時の実践能力習得の不足

看護技術80項目について、厚労省の推奨水準と臨地実習の実態を比較。「卒業時点で一人でできない」と回答した学校が5割を超えた看護技術が16項目(20.0%)あった。日本看護協会「2006年看護教育基礎調査」

課題

チーム医療の推進

チーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に応えるため、学生・医療人の実践能力を強化

教育と臨床の連携強化

学生・医療人の実践能力を強化するため、教育と臨床が連携し、教育指導の質を向上

地域医療連携の推進

地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・医療者に地域医療連携の視点や実践を教育できる教育指導者の養成等

取組

大学・実習病院・地域医療機関等が連携を強化し、新たな教育指導体制の構築に取り組む

卒前・卒後の一貫した教育プログラムの開発と臨床の教育指導者の養成

大学教員と実習先の教育指導者の人材交流

地域医療にも貢献できる看護師・薬剤師の養成

成果

大学と実習病院が連携し、効率的・効果的な医療人の教育を行うことで、国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築に貢献

- 学生・医療人の効果的・継続的な専門能力の習得・向上
- 優れた教育指導者の養成
- 医療人の教育の連携が進むことによる医療の質向上

①地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成

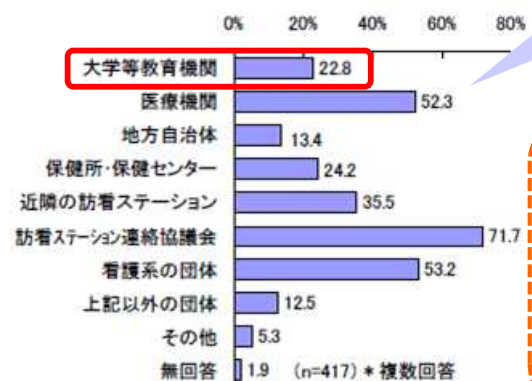
課題

- ◆ 看護学生や病院で働く看護師は病院の中で提供する医療を中心に教育されてきた。超高齢化社会においては病院から暮らしの場へ医療・看護をつなぐ教育を充実させて、看護師の専門性を強化していくことが必要
- ◆ 看護系大学の教育の充実に向けた課題:「教育目的に適した多様な教員の構成」「実習環境の充実」「全ての看護職の生涯学習に積極的な貢献をする体制の整備」(大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告、23年3月)

対応

大学・実習病院・地域医療機関等が連携を強化し、新たな教育指導体制を構築する

連携を取っている外部機関があると回答した訪問看護ST417施設の連携先



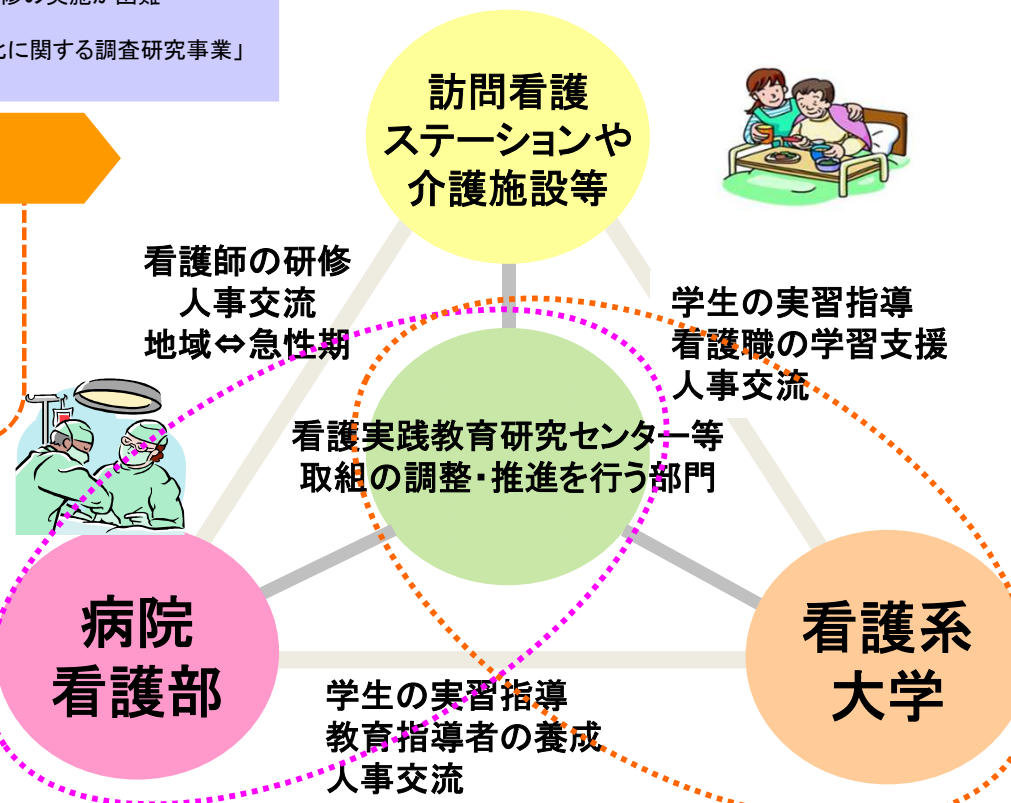
- 訪問看護ステーションは事業規模が小さく、単独での研修の実施が困難
 - 大学と訪問看護ステーションの教育の連携は乏しい
- (「新卒看護師等の訪問看護ステーション受入れ及び定着化に関する調査研究事業」日本訪問看護振興財団(平成20年)より)

取組例

看護系大学、病院看護部、訪問看護ステーション等が連携し、地域医療連携にかかわる業務に精通し、学生・看護師に地域医療連携の実践を教育できる教育指導者の養成

【事業の内容】

- **看護系大学、病院看護部、訪問看護ステーション等が連携し**、卒前・卒後の一貫した**教育プログラムを開発**する
- 教育プログラムに「男女共同参画」「地域医療介護連携」「チーム医療」の要素を含める
- 病院の看護師から優れた**教育指導者を養成**する
- 教育の場と臨床・介護の場で看護職の**人材交流を実施**する
- **取組を調整・推進する部門**の開設もしくは機能の拡充する



成果

- 患者にとって安心・安全な看護が提供できる新卒看護師を効果的に教育指導できる看護師の養成
- 超高齢化社会において患者の急性期の医療から地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成

効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- 看護師の教育の連携が進むことによる医療の質向上

② 指導力を有し地域医療で活躍できる薬剤師の養成

課題

- ◆医療人としての質の高い薬剤師を養成するためには、実務実習の充実と指導者としての現場薬剤師の資質向上が不可欠。
- ◆6年制薬学部においては、モデル・コアカリキュラムに基づく教育を行うことに加え、各大学において養成すべき薬剤師像を明確化し大学独自の教育を行うことが必要。
- ◆在宅医療など地域に密着し、チーム医療に対応できる薬剤師の養成に向けた教育の充実が必要。

対応

- ◆大学が病院・薬局等と組織的に連携し、教育プログラムの構築、教育指導者の養成、実務実習の充実を図る。

事業の内容

- ・大学が病院・診療所・薬局等と連携し、卒業後を見越した特色ある優れた学部教育プログラムと、卒業後の薬剤師の現職教育プログラムを構築・実施する。
- ・在宅医療、プライマリケア、地域におけるチーム医療について指導できる薬剤師の養成を通じて、実務実習の内容充実と質向上を図る。
- ・大学と病院・薬局のグループ内で薬剤師の交流を促すことにより、薬剤師の資質向上と実務実習の質の底上げを図る。
- ・病院・薬局における実務家教員の研修プログラムを作成・実施する。



成果

- 地域医療に貢献できる優れた薬剤師の養成
- 実務実習における高い指導力を持った薬剤師の養成

効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- 薬剤師の教育の連携が進むことによる医療の質向上

③ チーム医療に貢献でき、高い指導能力をもったメディカルスタッフの養成

課題

- ◆ 医療の高度化、患者のニーズの多様化を踏まえた、臨床実習前教育と臨床実習の充実
- ◆ 臨床実習を効果的に実施するため、実習指導者の養成による実習内容の充実
- ◆ 大学教員と実習指導者との連携強化

対応

大学と臨床実習先である病院等が連携を強化し、新たな教育指導体制を構築する

教育プログラム改善・充実及び実習指導者養成の必要性

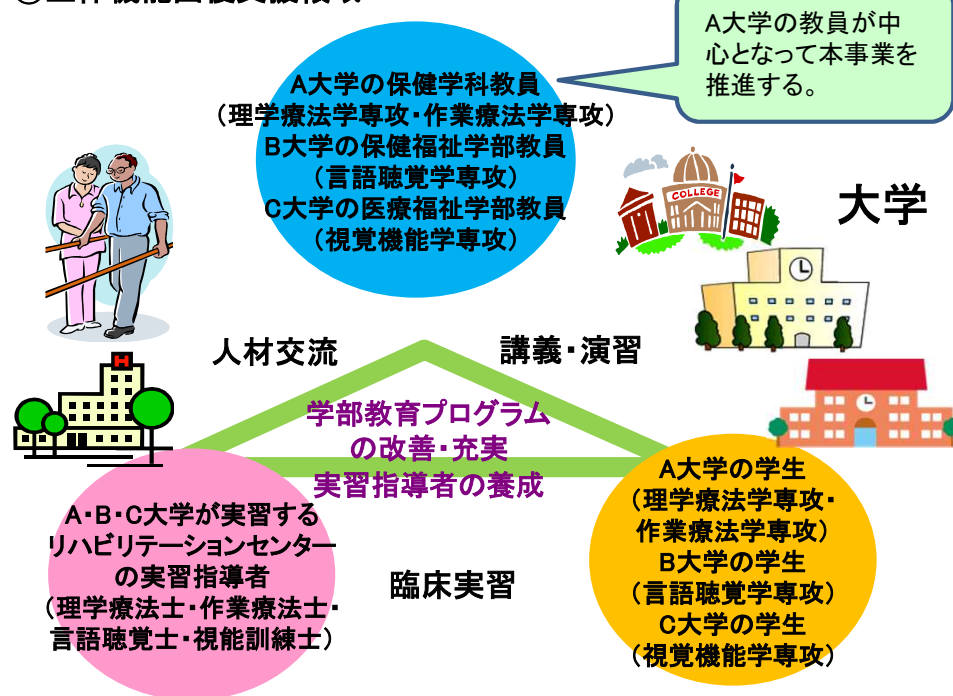
- ① **生体機能回復支援領域（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士）**：近年、理学療法士は整形外科疾患の患者に限らず、脳卒中発症後患者の急性期リハビリテーションや糖尿病患者の運動療法等、様々な疾病をもつ患者への対応が期待されている。また、作業療法士・言語聴覚士については摂食・嚥下チームのチームメンバーとしての役割が期待されていたり、視能訓練士については高齢患者や糖尿病患者の視力低下等の検査・指導等について役割が期待されていたりする。患者のリハビリテーションに対するニーズが多様化し、その対応が求められており、学部教育においては、特に臨床実習で幅広い内容を効果的に教育する必要がある。
- ② **生体機能診断支援領域（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）**：近年、診療放射線技師については、「がん対策推進基本計画」に基づく放射線治療等の役割、臨床検査技師については、生理学的検査や遺伝子・染色体検査、生殖医療検査等、様々な高度な検査の役割、臨床工学技士については、高度化する医療機器のより安全な管理の役割について期待が高まっている。いずれも高度で実践的な技術力を必要としており、臨床の診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士が積極的に学部教育に関わる必要がある。
- ③ **口腔機能回復支援領域（歯科衛生士、歯科技工士）**：近年、歯・口腔の疾患が様々な全身の疾患に関与していることがわかってきており、栄養サポートチーム、摂食・嚥下チーム、呼吸サポートチーム等の医療チームにおいて、口腔内ケアにおいて歯科衛生士・歯科技工士は重要なチームメンバーである。特に歯科技工士が、口腔内の器具の開発・改良を提案することで、より効果的な口腔ケア法を創出するといった役割も期待されている。医療チームの一員として活躍できる歯科衛生士・歯科技工士を育成するための実習内容など、教育プログラムの改善・充実が急務である。

※ チーム医療においては、各種メディカルスタッフが各々の専門分野における知識と技術を十分にもち、チームリーダーである医師・歯科医師が各種メディカルスタッフの知識や意見を引き出すことが重要であり、それによって患者の状況に的確に対応した医療を提供することが可能となる。

事業の内容

- 大学、実習先病院等が連携し、**学部教育プログラムの改善・充実**を図る
- 教育プログラムに「チーム医療」の要素を含める
- 実習指導者の指導能力を向上させるための指導者教育プログラムを開発し、実習先である病院等において高い指導能力をもつ**実習指導者を養成**する
- 教育の場と臨床の場での人材交流を実施する

① 生体機能回復支援領域



成果

- 学部段階の臨床実習生を効果的に教育指導できる高い指導能力をもった実習指導者の養成
- 患者にとって安心・安全な医療が提供できるメディカルスタッフの育成

効果

- 国民に対する安心・安全な医療提供体制の構築
- メディカルスタッフの教育の連携が進むことによる医療の質向上

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果①

【取組1：医師・歯科医師を対象とした人材養成】

【1-(1)：横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成】

① 医療の質管理領域(医療安全・感染制御) 申請件数：26件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|----------|-------|---------------------|
| 1 | 国立 | 東京医科歯科大学 | | PDCA医療クオリティマネージャー養成 |
| 2 | 国立 | 名古屋大学 | | 明日の医療の質向上をリードする医師養成 |

② 災害医療領域 申請件数：19件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|---------------------------|----------------------|
| 1 | 国立 | 新潟大学 | | 発災～復興まで支援する災害医療人材の養成 |
| 2 | 私立 | 近畿大学 | 京都大学、大阪市立大学、関西医科大学、旭川医科大学 | 災害医療のメディカルディレクター養成 |

③ 臨床医学教育・研究領域 申請件数：15件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|-------|----------------------|
| 1 | 国立 | 京都大学 | | 京大で臨床研究力／医学教育力を強化する！ |
| 2 | 国立 | 琉球大学 | | 臨床研究マネジメント人材養成 |

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果②

【取組1：医師・歯科医師を対象とした人材養成】

【1-(2)：特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成】

① 難治性疾患診断・治療領域(臨床病理を含む) 申請件数：12件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|--------------------------------|----------------------|
| 1 | 国立 | 金沢大学 | 富山大学、福井大学、金沢医科大学 | 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン |
| 2 | 国立 | 信州大学 | 札幌医科大学、千葉大学、東京女子医科大学、京都大学、鳥取大学 | 難病克服！次世代スーパードクターの育成 |

② 高難度手術領域 申請件数：12件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|-------------------------------|----------------------|
| 1 | 国立 | 熊本大学 | 長崎大学、岡山大学、金沢大学、新潟大学、千葉大学、京都大学 | 国内初の、肝臓移植を担う高度医療人養成 |
| 2 | 私立 | 慶應義塾大学 | 東京医科大学、岩手医科大学 | 領域横断的内視鏡手術エキスパート育成事業 |

③ 小児周産期領域 申請件数：12件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|------------------|----------------------|
| 1 | 国立 | 筑波大学 | 東京医科歯科大学 | ITを活用した小児周産期の高度医療人養成 |
| 2 | 国立 | 鳥取大学 | 秋田大学、山形大学、大阪市立大学 | 重症児の在宅支援を担う医師等養成 |

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果③

【取組1：医師・歯科医師を対象とした人材養成】

【1－(3)：健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成】 申請件数：3件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|----------|---|--------------------|
| 1 | 国立 | 東京医科歯科大学 | 東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学 | 健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム |
| 2 | 国立 | 岡山大学 | 北海道大学、金沢大学、大阪大学、九州大学、長崎大学、鹿児島大学、岩手医科大学、昭和大学、日本大学、兵庫医科大学 | 健康長寿社会を担う歯科医学教育改革 |

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果④

【取組2:看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成】

【2-(1):地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成】 申請件数:66件、選定件数5件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|------------|-------|---------------------|
| 1 | 国立 | 群馬大学 | | 群馬一丸で育てる地域完結型看護リーダー |
| 2 | 国立 | 信州大学 | | 実践力ある在宅療養支援リーダー育成事業 |
| 3 | 国立 | 鹿児島大学 | | 地域での暮らしを最後まで支える人材養成 |
| 4 | 公立 | 山形県立保健医療大学 | | 山形発・地元ナース養成プログラム |
| 5 | 私立 | 東邦大学 | | 都市部の超高齢社会に挑む看護師養成事業 |

【2-(2):指導力を有し地域医療で活躍できる薬剤師の養成】 申請件数:27件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|-------|----------------------|
| 1 | 国立 | 大阪大学 | | 地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム |
| 2 | 私立 | 昭和大学 | | 大学と地域で育てるホームファーマシスト |

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果⑤

【取組2:看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成】

【2-(3):チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成】

① 生体機能回復支援領域(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士) 申請件数:24件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|-------|--------------------|
| 1 | 国立 | 長崎大学 | | 高度リハビリテーション専門職の養成 |
| 2 | 公立 | 大阪府立大学 | | 在宅ケアを支えるリハビリ専門職の養成 |

② 生体機能診断支援領域(診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士) 申請件数:17件、選定件数2件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|---------|----------|---------------------|
| 1 | 国立 | 筑波大学 | 茨城県立医療大学 | 多職種連携医療専門職養成プログラム |
| 2 | 国立 | 九州大学 | | 実践能力強化型チーム医療加速プログラム |

③ 口腔機能回復支援領域(歯科衛生士、歯科技工士) 申請件数:2件、選定件数1件

| No. | 区分 | 申請担当大学名 | 連携大学名 | 事業名 |
|-----|----|----------|-------------|----------------------|
| 1 | 国立 | 東京医科歯科大学 | 広島大学、九州歯科大学 | 健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成 |